

(株)柳澤織ネーム

脱いだ履物の目印に
織物のアイデア商品

坂井・製造会社が開発

ネームタグなど製造の柳澤織ネーム(坂井市)は、細巾織物「越前織」でつくったテープの先端をサイコロ状に加工した「越前織菜」を開発した。脱いだ履物の目印や、ボトルキープの印などに使えるアイデア商品だ。

幅は約1センチ、長さは約20センチ。テープに入った切れ目にサイコロ状の部分を入れるとリングになる。先端の

形状にちなんで商品名を書いた。

和装の際に脱いだ草履が他人のものと区別できないという消費者の声に応えた。

草履の鼻緒につけて目印にするほか、ボトルの首に



履物の目印やボトルキープ札など他用途のしおり「書」

かけておしゃねなキープ札にも使える。

製品名の通り、本に挟めばしおりになるという使い方が応用が利く商品。炭素繊維を織り込んでおり、静電気防止機能もある。バッグの持ち手に巻き付けておけば、手軽に持ち運べる。

色は13色以上で、ロゴなどの印刷も可。ノベルティ品などでの需要も見込んでいる。

坂井市丸岡町の一筆啓上茶屋のほか、東京のアンテナショップなどでも販売。価格は1本324円。